

日本精神保健看護学会
第 33 回学術集会・総会
趣意書

共催セミナー

2022 年 8 月

日本精神保健看護学会第 33 回学術集会・総会 運営事務局

日本精神保健看護学会第 33 回学術集会・総会ご協賛のお願い

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、日本精神保健看護学会ならびに神戸市看護大学へ格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、日本精神保健看護学会第 33 回学術集会・総会を「精神保健看護がめざす多様性と包摂性の実現に向けて」のテーマにて、来る 2023 年 5 月 13 日(土)・14 日(日)の両日に亘り、兵庫県神戸市で開催する運びとなりました。

日本精神保健看護学会は、精神保健看護学の発展をはかり、広く知識の交流に努め、もって人々の精神の健康と福祉に貢献することを目的として 1990 年に発起し 1991 年に発足しました。現在では、会員約 1400 人を集め、精神保健看護の学会としては国内最大規模となりました。例年、全国の精神科臨床の第一線で活躍されている看護職、精神保健看護学関連分野の教育者や研究者、精神保健福祉の様々な専門職を中心に 1,000 名以上の方が参加されています。近年は、専門看護師や認定看護師などの高度実践看護師、精神障害の当事者や家族も多く参加されています。新型コロナウイルス感染症の影響で 2020 年度よりオンライン開催となっておりますが、第 33 回学術集会では、会場とオンラインの両方を活用したハイブリッド形式での開催を予定しております。

さて、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大は、世代による分断や社会的孤立、経済格差などの我が国が抱える課題の顕在化をもたらしました。これらの課題は、人々の心の健康に大きな影響を与えています。

私たちは、どのような状況に置かれても、自分らしく生きがいをもって生活できる地域共生社会を目指してきました。精神保健看護は、精神障害者や精神的不調を抱える人を含め、あらゆるライフステージの全ての人を対象として発展してきましたが、孤独や生きづらさを感じる人々へのさらなる貢献が期待されています。例えば、複合的課題を持つ世帯への支援や精神障害者の権利擁護は古くて新しい課題といえます。

あらゆる人の心の健康の保持と増進、および、精神障害者の社会参加の第一線を担ってきた精神保健看護が、多様な背景をもち、多様な環境にある人々を包摂する社会の実現に向けて貢献しようとする時、これまでの枠にとらわれずその対象と方法を大きく広げることが求められていると感じます。

神戸市は、古代から港町として発展し、幕末の開港以降は国際貿易都市として多様な外国文化を取り入れつつ独自の文化を築いてきました。また、一瞬にして尊い命と街を破壊した 1995 年の阪神・淡路大震災から見事な復興を遂げ、震災から得た教訓や災害についての知識を広く発信し続けています。多様性を受け入れることへの寛容さと困難に立ち向かう力強さをもつこの街で、精神保健看護がめざす多様性と包摂性の実現にむけて、ともに考える機会にしたいと考えております。

つきましては、本大会の意義と趣旨をご理解いただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のますますのご発展を祈念申し上げます。

謹白

2022 年 8 月 吉日

日本精神保健看護学会第 33 回学術集会
会長 船越 明子
(神戸市看護大学看護学部 精神看護学)



開催概要

- 会議名称** 日本精神保健看護学会第33回学術集会・総会
- 会期** 2023年5月13日(土)・14日(日)
- 会場** 神戸国際会議場(〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1)
および事後オンデマンド配信(2023年5月25日(木)~6月30日(金))
- 会長** 船越 明子
(神戸市看護大学看護学部 精神看護学分野)
- テーマ** 「精神保健看護がめざす多様性と包摂性の実現に向けて」
- 参加者** 約1,000名 (予定)

プログラム(予定)

総会、会長講演、特別講演、教育講演、招待講演、
シンポジウム、ワークショップ、
一般演題発表、市民公開講座、機器・書籍展示 他

運営事務局(問い合わせ先)

株式会社インターグループ
担当: 中山、佐藤
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル
TEL: 06-6372-3052 FAX: 06-6376-2362
E-mail: japmhn33@intergroup.co.jp

運営所要経費概算

■収入の部	金額
1 参加費収入	¥9,335,000
2 共催収入	¥600,000
3 展示収入	¥540,000
4 広告収入	¥660,000
5 寄付収入	¥200,000
6 助成金収入	¥1,000,000
合計	12,335,000

■支出の部	金額
1 会場関係費	¥4,375,700
2 接遇関係費	¥607,500
3 印刷物制作費	¥2,134,000
4 抄録集作成費	¥771,360
5 広報物作成費	¥978,500
6 その他	¥1,030,540
7 Web サイト制作費	¥1,030,000
8 事務局準備運営費	¥857,400
9 当日運営費	¥550,000
合計	12,335,000

共催セミナー募集要項 ～ホームページバナー・幕間広告（無料オプション）付～

1. 共催セミナーについて

◆開催日時 現地開催：2023年5月13日(土)・14日(日)（予定）

◆開催形態 日本精神保健看護学会第33回学術集会・総会との共催
神戸国際会議場（現地開催）

◆共催費および会場詳細

共催セミナー（現地開催） 250,000円（第1会場：5月13日のみ） ※税込
150,000円（第2・3会場：5月13日・14日）※税込

ただし、お食事代や講師謝礼・控室での飲食等は上記金額には含まず、各社のご負担とさせていただきます。追って、オプションのご案内をいたします。

会場規模 第1会場 1Fメインホール（230名）
第2会場 5F 501（50名）
第3会場 5F 502（50名）

※日時・会場はプログラムの都合で変更になることがあります。

※人数は新型コロナウイルス感染症対策のため、定員の3分の1に設定しています。

(1) 共催費に含まれるもの

- ・現地会場費（神戸国際会議場）
- ・映像/音響機材費・オペレーター人件費

(2) 共催費に含まれないもの

以下の費用については共催費に含まれておりません。

- ・座長、演者の謝礼・・・貴社より直接お支払い下さい。
- ・飲食費：参加者弁当や、講師控室のお食事代（別途オプション）
- ・配布資料印刷製作費・・・チラシや配布資料などの制作は貴社にてお願いします。
- ・運営人件費（上記（1）のオペレーター人件費以外）

アナウンスなどの運営スタッフ、通訳者等の手配については

貴社にてご手配下さい。運営事務局でも有料で承りますので、ご希望の場合はお問い合わせ下さい。

- ・追加機材 ※収録、同時通訳機材など

学会プログラムで使用する機材以外の現地手配をご希望の場合は、運営事務局でも有料で承りますので、お問い合わせ下さい。

貴社ご手配も可能ですが、関係各所への調整・運営管理のため、事前に運営事務局までご連絡をお願いします。

◆共催費の支払方法

お申込受領後、請求書を発行させていただきます。

請求書が届きましたら下記口座にお振込み下さい。口座情報は請求書にも記載いたします。

〔振込先口座〕

三菱 UFJ 銀行 大阪駅前支店（店番：067）

普通預金番号 0267798

日本精神保健看護学会第33回学術集会・総会 代表者 船越 明子

（ニホセイシケンカンゴガ ッカイダ イサンジ ュサンカイガ クジ ュツシュウカイウカイ フナコ アキコ）

◆プログラム編成について

- ・テーマ、座長、演者の選定については、貴社と事務局との合意の上で決定することといたします。
- ・演者抄録についても会期1カ月前までのご提出をお願いします。プログラム抄録集に掲載いたします。

◆搬入出について

- ・プログラム確定後、別途お送りする実施要綱をご参照ください。

◆申込先・原稿送付先

別紙の「共催セミナー申込書」に記入の上、運営事務局（問い合わせ先）までご提出ください。

◆申込締切 2022年12月23日(金)

2. ホームページバナー広告について（無料オプション）

◆原稿提出様式

- ・ファイル形式：JPG, PNG, GIF
- ・ファイルサイズ：ホームページバナー：横480ピクセル×縦160ピクセル（240×80でも可）
- ・バナー遷移先URL：バナークリック時の遷移先ページのURLをご提出ください。

◆原稿提出締切

- ・ホームページバナー：お申し込み後から受付、支払い確認後反映
- ※ご提供いただいたデータ及びメディアは使用后、運営事務局にて破棄もしくは返送いたしますのでご了承ください。

◆幕間広告

お申込み後に詳しいご案内をいたします。